

東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会のレガシー

東京都医師会長 尾崎 治夫

1. タバコ対策

オリンピック・パラリンピックの開催で進んだ受動喫煙防止の法的整備によるタバコ対策の更なる推進

2. 熱中症対策

オリンピック・パラリンピックを通じて得られる環境面・治療面での熱中症対策の進歩

3. 外国人医療

多言語対応やキャッシュレス決済等、外国人医療提供体制の充実

4. 感染症対策

- ① オリンピック・パラリンピックを機にワクチンで防ぐことのできる、いわゆるV P Dに対する対策の徹底
- ② 麻しん・風しんだけでなく、医師会や医会主導でのHPVワクチンの勧奨再開

5. バリアフリー化

補助犬の受け入れなど心のバリアフリーを含めた障がい者対策への理解促進

6. 運動で健康になる

オリンピック・パラリンピックという一大スポーツイベントを通じた「Exercise is Medicineー運動は医療そのものであるー」という考え方の普及